

令和3年1月期 横浜市感染症発生動向調査委員会報告

《今月のトピックス》

- 新型コロナウイルス感染症の報告が高い値で続いています。
- インフルエンザは例年より報告数が少ないです。

◇ 全数把握の対象

〈1月期に報告された全数把握疾患〉

腸管出血性大腸菌感染症	2件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	5件
E型肝炎	4件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1件
アメーバ赤痢	4件	侵襲性肺炎球菌感染症	3件
ウイルス性肝炎	1件	水痘(入院例に限る)	1件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3件	梅毒	5件
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6件	-	-

- 腸管出血性大腸菌感染症: O91が1件、O血清群不明が1件(ともに無症状病原体保有者)の報告がありました。感染経路等不明です。
- E型肝炎: 4件(うち無症状病原体保有者1件)の報告がありました。感染経路等不明です。
- アメーバ赤痢: 腸管アメーバ症の報告が4件あり、うち2件が性的接触による感染が推定されています。
- ウイルス性肝炎: B型の報告が1件ありました。性的接触による感染が推定されています。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症: 3件の報告がありました。いずれも感染経路等不明です。
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症: A群2件、B群3件、G群1件の報告がありました。
- 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む): 無症状病原体保有者が2件、AIDSが3件の報告がありました。いずれも男性で、性的接触(同性間4件、性別不詳1件)による感染が推定されています。
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症: 40代の報告が1件(ワクチン接種歴不明)ありました。
- 侵襲性肺炎球菌感染症: 10歳未満の報告が2件(ワクチン接種歴4回あり)、80歳代の報告が1件(ワクチン接種歴不明)ありました。いずれも感染経路等不明です。
- 水痘(入院例に限る): 30歳代の検査診断例の報告が1件ありました。
- 梅毒: 無症状病原体保有者2件、早期顕症梅毒 I 期3件の報告がありました。いずれも男性で、うち4件が異性間性的接触による感染が推定されています。

◇ 指定感染症(新型コロナウイルス感染症)

第52週～第3週に横浜市から報道発表のありました症例は8704件でした。

横浜市内の新型コロナウイルスに感染した患者の発生状況

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/yobosesshu/kansensho/coronavirus/kanja.html>

新型コロナウイルス感染症報告数
(報道発表ベース)

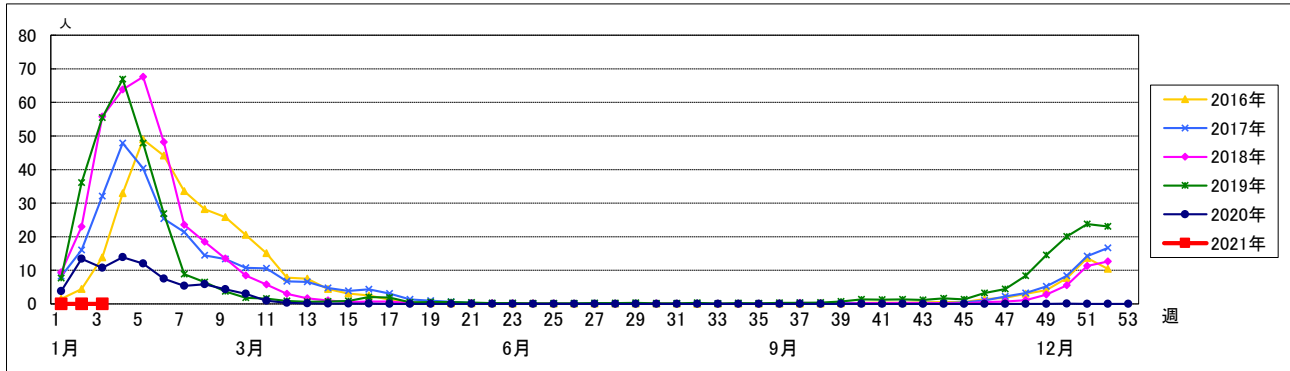


[週]

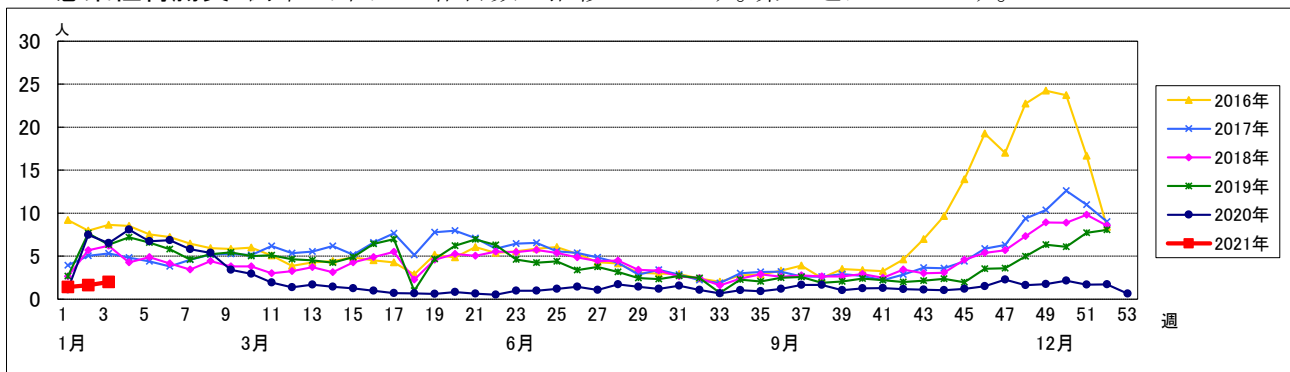
◇ 定点把握の対象:

報告週対応表	
第52週	12月21日～12月27日
第53週	12月28日～ 1月 3日
第1週	1月 4日～ 1月10日
第2週	1月11日～ 1月17日
第3週	1月18日～ 1月24日

1 インフルエンザ: 昨シーズンは2019年第40週で流行開始の目安(1.00)を上回り、第49週には流行注意報発令されましたが、今シーズンは例年より低めの報告数で推移しており、第3週は0.00です。



2 感染性胃腸炎: 例年より低めの報告数で推移しています。第3週は1.99です。



3 性感染症(12月)

性器クラミジア感染症	男性:24件	女性:35件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性: 7件	女性:11件
尖圭コンジローマ	男性: 5件	女性: 9件	淋菌感染症	男性:16件	女性: 2件

4 基幹定点週報

	第52週	第53週	第1週	第2週	第3週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

5 基幹定点月報(12月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	6件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。
 横浜市衛生研究所ホームページ URL: <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryu/eiken/>